




# 道徳教育研究委員会

高山小学校 3年2組 櫻田 幸子教諭

主題名 「わたしのいのち」

主眼 実際に乳幼児検診に行き、赤ちゃんや赤ちゃんのお母さんとふれ合った子どもたちが、康子さんの気持ちを考えたり、お家の人からの手紙を読んだりすることを通して、自分も康子さんと同じように多くの人の願いの中で生まれ、周りの人に支えられ、大事にされて生きていることを感じとることができる。

展開

段階	学習活動と主な発問	児童の反応	備考	
導入	1. 赤ちゃんが生まれた時の様子について振り返る。 2. 資料「わたしのたんじょう」について話し合う。 お母さんが入院したとき、お母さんや周りの人はどんな気持ちだったでしょう。	おばあちゃんの発言 「お母さん がんばって」 みんなの発言 「元気で生まれるといいね」 お母さん 「健康な赤ちゃんが生まれるといいな」 お母さん 「早く生まれないように、赤ちゃん耐えて欲しい」 お兄ちゃん 「おなかが痛いと思うけど、がんばってね」 お兄ちゃん 「早く退院してね」 おばあさん 「元気かしら、お母さん」		場面絵
展開	お母さんの話を聞いて康子さんはどんなことを考えたでしょう。	・生まれてきてよかった。元気でよかった。胸がドキドキした。 ・お母さんに生んでくれて良かったしありがとう。 ・うれしいわ ・康子さん生まれて良かった ・お母さんつらかった ・元気になるてよかった。 ・みんなが命を気遣った。命を大切にしたい。 ・お母さんに恩返ししたい		ワークシート
終末	3. お家の人からの手紙を読む。 自分も手紙をもらってどんなことを思いますか。 4. 本時の学習を振り返る。 今日の学習を終えて、思ったことや考えたことを書いてみましょう。	・わ、、、いっぱい、こんなに読めない（微笑み） ・ふりがなふってある。 (それぞれの実感こもった、、、声) ・あ、、、感動した ・どうやって集めたの？ ・感動した？ハイ！ ・お母さん、普段は怒ってばかりいるけど、、、うれしかった。 ・初めて知ったこともあるよ。		家族の手紙 ワークシート

研究会から

・「いのち」についてずっと学習を積み重ねてきたベースがあるので、学習に取り組む子どもの姿勢が違っていった。また、子どもたちの発言に自然に表れていた。  
・授業案を見たときから流れがいい。資料のイメージがずっと子どもたちに入っていったり、言葉だけで終わってしまいそうなことがきちんと考えられていた。やはり事前に「チャオルの森」を訪問し乳幼児にふれる体験をしたことが生きていたと思う。